古石ひでさと5期目に向かっての議会活動
ひでさと
古石
後援会だより
URL：http://古石.com/

第3291号
発行日　令和2年7月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南1条1丁目
TEL　25－2226

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

道内経路不明感染再び急増

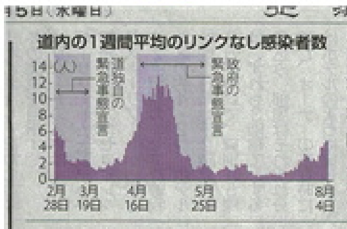
5日（水曜日）　北海道新聞　1942年10月29日第3種郵便物認可　©北海道新聞

経路不明感染 再び急増

道内 第2波直前と類似

道内で7月中旬以降、新型コロナウイルスの感染経路（リンク）が追えない感染者が急増している。道内第2波でも、4月上旬にリンク不明の感染者が増加し、感染拡大につながったとみられている。今回のリンク不明の感染者には若い世代が多く、専門家はクラスター（感染者集団）の発生につながりかねないと警戒。道はこれからお盆の帰省シーズンも迎えることから、道民に感染対策の徹底を呼び掛けている。

（27面＝道内11人感染）


道内の1週間平均のリンクなし感染者数

リンクなし感染者数の1週間平均の推移をみると、6月18日から7月17日までは1人台を下回っていたが、徐々に増加傾向となり、今月4日現在で4・9人となった。4、5月の第2波では、3月19日の道独自の緊急事態宣言終了後は1人台だったが、4月に入ると増加傾向となり、同月11日に現在と同じ4・9人、同月28日には12・9人に達した。新規感染者数全体も比例するように膨らんだ。

北海道医療大の塚本容子教授（感染管理学）は、現在の状況について「第2波の傾向と似ているが、若い世代の感染者が多く、感染がより拡大する懸念もある」と指摘。若い世代は無症状や軽症の感染者が多く、無自覚なまま福祉施設や病院などにウイルスを持ち込み、クラスター発生につながる恐れもある。「自分が感染していると思って、近くに人がいる時は常にマスクを外さないことを徹底してほしい」と注意を促す。

道はマスク着用など感染リスク低減に取り組む「新北海道スタイル」徹底や、東京などとの往来を慎重に判断するよう求めている。お盆時期は帰省などで会食の機会も増えるとみられることから「飛沫感染防止のために大声を出さないことなどを徹底してほしい」と呼び掛ける。（内藤景太）

東京五輪マラソン・競歩のコースになっている札幌駅前通＝4日午後5時ごろ（伊丹恒撮影）

熱いレース待つ並木道

五輪マラソン・競歩まで1年

来年夏に延期された東京五輪マラソン・競歩の札幌開催まで、5日で1年となった。来年8月5、6日に競歩、マラソンは7、8日に行われる。大通公園を発着するコースの道路補修はほぼ完了し、今月6日からは4日間にわたってマラソン・競歩の競技時間と同時刻の実地検証が行われる。新型コロナウイルス対策は秋以降に検討する。

（3面＝観戦準備進まず、19面＝代表の進化加速、26面＝市民は不安と期待）

マラソンは女子が2021年8月7日、男子は五輪最終日の8日で、それぞれ午前7時出走。大通公園から平岸通、創成川通、北大などを経由して大通に戻り、1周目の後半部分をさらに2周する。

国立競技場（東京）で8日に行い、札幌は花束贈呈セレモニーがある。

実地検証は、来年の競技日の曜日に合わせて1日違いの日時で行われ、大会組織委の関係者がコース上の気温や人の往来などを調べ、救護ステーションや給水ポイントなどの配置を検討する。

組織委はさらに10月までにコースの計測、来春にはテスト大会を行って、運営計画を精査する。

札幌全区に発熱外来

市長表明 11月稼働目指す

札幌市の秋元克広市長は4日、北海道新聞のインタビューで、秋冬期の新型コロナウイルスやインフルエンザの感染拡大に備え、市内全10区ごとに発熱外来を数カ所ずつ新たに設置すると表明した。発熱者の大幅増が予想されるためで、11月の稼働を目指す。

発熱外来は、新型コロナとインフルエンザの両方を検査できるようにする。今後具体的な体制を札幌市医師会などと協議する。

市は現在、新型コロナ対策として医療機関15カ所に帰国者・接触者外来を設置。市保健所の紹介で受診した発熱者のPCR検査用の検体採取を行っている。市長は「秋冬に発熱者が何千人も出てくるとさばけない。（感染拡大の恐れから）医療機関のどこでも受診してもいいということにはならない」と説明した。

介護老人保健施設「茨戸アカシアハイツ」で入所者ら90人超が感染し、看護師や介護職員が不足したことを受け、事前登録した医師や介護職員をクラスター（感染者集団）が発生した施設に派遣する制度の創設に向け、道と協議する考えも示した。

全道一律で実施した一斉休校について、市長は「新型コロナ特措法上は知事の権限」とした上で、「感染症対策という意味で効果があったかどうかは分からない」と強調。「今後は学校、クラス、学年単位ということになるかなと思う」と述べた。（中村征太郎）

ピアノ高く買います
0120-[illegible]

LADIES CHAMPIONSHIP
本日より開催
8月5日(水)
BOAT R
●スカパー!にて放映

道内景気は「厳しい」

日銀概況 7月、判断据え置き

日銀札幌支店が発表した道内金融経済概況は、7月の景気総括を「大幅に悪化した後、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続き見られるもとで、極めて厳しい状況にある」とし、「大幅に悪化している」とした6月と表現は異なるが、2カ月連続で判断を据え置いた。

項目別では、全7項目のうち輸出のみ、食料品や輸送用機器などで改善が見られるとして「下げ止まりつつある」に上方修正した。他の6項目はいずれも6月判断を据え置いた。このうち個人消費は、外出自粛が和らぐ中、日用品や食料品では増勢が鈍化していることから、「持ち直しの動きが見られるが、低い水準が続いている」とした。

石井正信支店長は「個人消費の持ち直しは、外出自粛の動きが続けば緩慢なペースにとどまるだろう」との見方を示した。（芝垣なの香）

経済成長マイナス6.4%

道銀 20年度予測6.7ポイント下方修正

北海道銀行は3日、2020年度の道内経済見通しの改定値を発表し、物価変動の影響を除いた実質経済成長率を昨年12月の当初予測より6・7ポイント低いマイナス6・4%に下方修正した。新型コロナウイルスの感染拡大による道内経済への打撃は大きく、リーマン・ショックの影響を反映した08年度の実績値マイナス3・5%を大幅に下回ると見込んでいる。

項目別では、個人消費は巣ごもり需要が拡大した一方で、休業要請や外出自粛が響き、伸び率は当初予測比6・5ポイント低いマイナス6・3%とした。道外からの観光客の消費を含む「移輸出」は、同16・7ポイント低いマイナス16・3%。景気悪化に伴う需要の減退に加え、訪日外国人客（インバウンド）が激減するなど、観光関連消費の減少が大きいと判断した。

設備投資は、先行きの不透明感が投資意欲の減退につながるとし、同7・9ポイント低下のマイナス4・6%。住宅投資については、所得の減少や投資マインドの低下などが下押し圧力となり、同6・6ポイント低下のマイナス8・4%とした。

調査した道銀地域総合研究所（札幌）は「当初予測の昨年12月とは経済状況が大きく変わった。道内でも感染が再拡大すると下振れする可能性もあるだろう」としている。（芝垣なの香）

小樽市内の景況感 観光業マイナス100

4～6月期

【小樽】小樽商工会議所がまとめた4～6月期の市内経済動向調査によると、企業の景況感を示す業況判断指数（DI）で観光業が前年同期比93・7ポイント減のマイナス100・0となり、比較できる1999年以来、最低となった。回答した観光業の全36社が景況感を「悪化」と答え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う小樽観光への打撃の深刻さが浮き彫りになった。

DIは業況を「好転」とした企業の割合から「悪化」とした割合を引いた値。1～3月期もマイナス93・1と深刻だったが、さらに悪化した。

道の駅隣接ホテル 宿泊のみ

長沼 パークゴルフ場跡地に

【長沼】住宅メーカー大手の積水ハウス（大阪市）と米大手ホテルチェーンのマリオット・インターナショナルが、道の駅「マオイの丘公園」隣接地に、宿泊特化型ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット」の2022年春開業を目指していることを受け、地元では「朗報だが、ホテルの客層などを詳しく知りたい」などの声が上がっている。（土屋孝浩）

22年春にも開業 地元で雇用も

建設予定地は道の駅のセンターハウス南側の旧パークゴルフ場跡地の町有地。すでに地盤調査に着手しており、町とは賃貸借契約を結ぶ。ホテルは3階建て78室で、延べ床面積は2600平方㍍。21年春着工、22年開業を目指す。宿泊費は1室1万円程度を見込む。従業員数は未定だが20人以上になる見通しで、地元で一部採用する予定。

道の駅を拠点に「地域の知られざる魅力を渡り歩く旅」を提案する全国規模の新プロジェクトの一環で、ホテルにレストランや大浴場をつくらないため、宿泊客は、道の駅はもちろん、周辺の温泉やレストラン、観光施設などへ足を延ばすことが想定される。

プロジェクトには、人材派遣大手のパソナなどが加わっており、新型コロナウイルス対策も考慮し、テレワークをしながら休暇を取る「ワーケーション」需要も視野に入れている。

道の駅マオイの丘公園の佐藤守社支配人は「また、うちが朝食を出すことになるのかは未定。主に外国人観光客向けのホテルだと思っていたので、コロナ禍で客層がどう変化するのか早く知りたい」と語る。由仁町の「ゆにガーデン」の雁田舞子統括マネジャーは「進出ホテルと当施設の両方に、相乗効果が期待できるのではないか」と歓迎した。

積水ハウスがホテル建設を計画している長沼町の旧パークゴルフ場跡地。手前は造成中の町道

新型コロナ経済対策

プレミアム商品券 道内123市町村発行

道は3日、新型コロナウイルスの経済対策で、道内市町村のうち少なくとも7割にあたる123市町村が、地元の飲食店などに限定して使えるプレミアム（割り増し）付き商品券の発行を実施または予定していると明らかにした。道は「即効性のある活性化策として、商品券の活用が広がっている」とみる。ただ専門家は、地域での消費喚起を継続させる取り組みが今後、必要になると指摘する。（大舘祐一）

道は、市町村がプレミアム商品券を発行する場合、市町村が負担する割り増し分の10%を助成する。商品券を使える店が感染拡大防止策を実践していることなどが条件。補正予算で3億円を充てている。

道によると、123市町村以外の58市町村は、実施を検討中だったり、プレミアム商品券とは別の形の支援をしているという。

道は123市町村の個別の事業内容を公表していない。北海道新聞が、人口が多い10市について調べたところ、いずれも7～11月の発行を決定している。

苫小牧市は割増率60%の商品券を9月中旬以降に発行する。主に飲食店向けで、8千円分の券を5千円で販売。飲食店以外が対象の割増率20%の券を含め事業費は約5億7千万円。担当者は割り増しについて「地元飲食店の経営が極めて厳しいため。消費喚起につなげたい」とする。

千歳市は4億7千万円を使い、割増率50%の商品券を11月中旬から発行する。旭川市は10月上旬から、函館と釧路の両市は7月中旬から割増率40%の商品券を発行。札幌市は8月から割増率20%の商品券を発行。

プレミアム商品券は、これまで消費税増税後の経済対策などとして発行されてきた。必要な商品の購入を前倒す「先食い」の側面もあるため、北大大学院経済学研究院の吉見宏教授（公会計論）は地域経済の立て直しに向け「各自治体は効果を一過性にしない工夫が必要」と指摘している。

道内人口上位10市のプレミアム付き商品券などの対応

都市	販売（予定）時期	割増率	内容
札幌	8月5日～	20%	1万2千円分を1万円で販売
旭川	10月上旬	40%と 20%	飲食店など対象は3500円分を2500円、全業種対象は1万2千円分を1万円で販売
函館	7月10日～	40%と 20%	飲食店対象は7千円分を5千円、全業種対象は1万2千円分を1万円で販売
苫小牧	9月中旬以降	60%と 20%	飲食店など地元店のみ対象は8千円分を5千円、大型店など向けは6千円分を5千円で販売
釧路	7月15日～	40%と 20%	飲食店対象は7千円分を5千円、物販店対象は1万2千円分を1万円で販売
帯広	11月中旬	20%	1万2千円分を1万円で販売
江別	10月以降	30%	1万3千円分を1万円で販売
北見	9月中旬	30%	1万3千円分を1万円で販売
小樽	7月18日～	37%と 25%	飲食店対象は5500円分を4千円、商店街向けは5千円分を4千円で販売
千歳	11月中旬	50%	6千円分を4千円で販売

※北海道新聞まとめ